

一般社団法人

保健医療福祉情報システム工業会

J A H I S

入会案内書

平成28年6月

入会のお勧め

わが国の 65 歳以上の人口割合は 2025 年に約 30%、2060 年には約 40%に達すると見られており、世界に先駆けて超高齢社会に突入しました。医療を取り巻く環境は大きく変化しています。高齢化の進展や疾病構造の変化（生活習慣病の増加）に伴い、「病院完結型医療」から地域全体で切れ目なく必要な医療を提供する「地域完結型医療」への転換が求められています。今後は、単に治癒や救命延命を目的とした医療ではなく、病気と共存しながら QOL（Quality of Life）の維持向上を目指す医療に変わっていきます。そのため、「地域完結型医療」の発展形として、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けることができるよう、住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供される「地域包括ケアシステム」の実現を、国をあげて目指しています。

2015 年 6 月の「日本再興戦略」および「世界最先端 IT 国家創造宣言」の改訂では、2020 年までの 5 年間を「集中取組期間」として定め、医療等分野における ICT 化を徹底することが示されました。地域における医師不足・偏在、医療従事者の負担増、超高齢社会の到来による医療・介護需要の増大といった課題を踏まえ、国民が長く健康で自立して暮らすことができる社会（健康長寿社会）を実現することが宣言されています。地域を超えた医療情報利活用基盤の構築を目指し、データやシステム仕様の標準化、運用ルールの検討やシステム関連コストの大幅な低廉化等による費用対効果の向上を図りつつ、2018 年度までに医療情報連携ネットワークの全国への普及・展開を図ることが求められました。医療・健康情報などの各種データの活用による、個々のライフスタイルに合わせた適切かつ継続性のある健康増進や発症・重症化予防の取組みも推進されています。地域医療情報連携ネットワークの全国への普及や電子カルテ導入機関の拡大、さらには「健康寿命の延伸」に向けた新規イノベーションの創出等の各施策では相互運用性を担保したヘルスケア ICT が非常に重要であり、これを担う本工業会への期待は益々高まっています。

また、2016 年 5 月の改訂では、個人の生涯にわたる医療や健康等の情報を経年的に管理・活用する PHR（Personal Health Record）のあり方を検討することも示されました。ウェアラブル端末の普及、健康・予防サービスに対する個人の嗜好の高まりや多様化等を背景に、サービス需要は今後飛躍的に増大していくものと考えられます。レセプトや健康診断のデータに加えて、ウェアラブル端末等の IoT/IoE によるデータ収集を活用すれば、よりリアルタイムで個人の状況に応じた、効果的なサービス提供が可能になります。

本工業会は、保健医療福祉情報システムに関する標準化の推進、技術の向上、品質及び安全性の確保を図ることにより、保健医療福祉情報システム産業の健全な発展と健康で豊かな国民生活の維持向上に貢献することを目的に設立されました。ICT を利活用して「健康で安心して暮らせる社会」を実現できるよう、会員一同、一層の努力を積み重ねていく所存です。

ご支援ご鞭撻を賜りますよう、お願い申し上げます。

会長 山本 正巳

目次

[Ⅰ] 本会活動の基本方針	1
[Ⅱ] 会員種別と年会費および入会金	2
[Ⅲ] 入会の手続き	4
入会申込書	別紙

[I] 本会活動の基本方針

1. 本会の目的と理念

いつでも、どこでも、誰でもが、良質で個人の意志を尊重した保健・医療・福祉サービスを受けられること、そしてそれに基づいて、健康で豊かな活力ある国民生活をおくることは、全国民の願いです。その実現を念頭に置き、「保健医療福祉情報システムに関する技術の向上、品質および安全性の確保、標準化の推進を図ることにより、保健医療福祉情報システム産業の健全な発展と国民の保健・医療・福祉に寄与し、もって健康で豊かな国民生活の維持向上に貢献すること。」を目的として、J A H I Sは、以下の理念に基づき活動します。

1) 生活者の重視

高齢化社会の到来によって保健・医療・福祉をめぐる状況は大きく変化しており、「個々の生活者を地域で包括的にケアする」仕組み作りが求められております。J A H I Sは、この観点から、これまでの主として医療施設を対象としたシステムから、最終的なサービスの受け手である、生活者にまで目を向けたシステムへと活動対象の拡大を図ります。

2) 標準化の推進

保健・医療・福祉の連携は、それぞれのサービス提供者の間で関連する情報を共有することが必須です。これを実現するため、異なるシステム間においても情報の連携と共有を可能とする標準化されたシステムを提供することは、われわれ産業界への期待です。標準類の策定と普及推進を目指すことはJ A H I Sの最も大きな使命のひとつと考えます。J A H I Sが策定する標準類は、システムの相互運用性を確保した上で、多様化するユーザニーズをカバーするとともに、各種製品やサービスの提供を可能とし、ユーザの利便性を向上します。標準類の策定と普及推進にあたっては、国内外の標準化団体との協調を考慮して進めていきます。

3) 産官学の協調

標準化をはじめとして、保健・医療・福祉の分野では、産業界だけで成し得ることが困難なことも多くあります。このため、サービスの最終的な受け手である生活者とこれにサービスを提供する保健医療関係者のニーズを中心とし、産官学がそれぞれの役割を演じつつ協調してこれにあたることが重要です。この中で、J A H I Sは主に技術的観点に立脚してその役割を果たしていきます。

4) 産業界の健全な発展

使いやすく、安全な情報システムは、その価値が医療経済の中で正当に評価され、健全な競争のもとに、ビジネス商品として定着してはじめてその使命を果たすことができます。J A H I Sはこの実現に向けて努力します。

[Ⅱ] 会員種別と年会費および入会金

1. 入会金

一律10万円です。

2. 会員の種別と年会費および資格

1) A会員（年会費500万円）

- (1) 役員又は役員に準じる会社から任命された者が会長又は副会長、理事、監事に選任される資格。
- (2) 保健医療福祉情報システム事業経営幹部が運営会議、戦略企画部および部門の正(副)責任者に選任される資格。
- (3) 従業員が運営会議、戦略企画部および部門の正(副)委員長およびその下部組織の正(副)責任者に選任される資格。
- (4) 従業員がすべての部門に参加する資格。

2) B会員（年会費250万円）

- (1) 役員又は役員に準じる会社から任命された者が理事、監事に選任される資格。
- (2) 保健医療福祉情報システム事業経営幹部が部門の正(副)責任者に選任される資格。
- (3) 従業員が運営会議、戦略企画部および部門の正(副)委員長およびその下部組織の正(副)責任者に選任される資格。
- (4) 従業員がすべての部門に参加する資格。

3) C会員（年会費100万円）

- (1) 役員又は役員に準じる会社から任命された者が監事に選任される資格。
- (2) 従業員が部会の正(副)委員長およびその下部組織の正(副)責任者に選任される資格。
- (3) 従業員がすべての部会に参加する資格。

4) D会員（年会費50万円）

- (1) 従業員が部会の委員会下部組織正(副)責任者に選任される資格。
- (2) 従業員がすべての部会に参加する資格。

5) E会員（年会費40万円）

- (1) 従業員がすべての部会に参加する資格。

6) F会員（年会費30万円）

- (1) 従業員が医事コンピュータ部会または医療システム部会のいずれかに参加する資格。
- (2) 従業員が保健福祉システム部会に参加する資格。

3. 会員種別の変更

会員種別の変更は原則、年度始めにのみ行うことができます。

4. 会計年度

本会の事業年度は、毎年4月1日から翌年3月31日です。

会員の権利と資格および義務に関する規則（J A H I S規則1号）

改訂 平成26年2月20日

[Ⅲ]入会の手続き

1. 入会申し込みの条件

本会の正会員は、「保健・医療・福祉に関わる情報システム関連の事業を営む法人」であり、本会の既会員の紹介を得る必要があります。

2. 入会申込書の提出

別紙の**入会申込書**に所定の事項を記載し、「**会社概要**」を添付して当工業会事務局までご提出ください。

※注 「**会社概要**」には、商号 設立年月 資本金 代表者 従業員数
本社所在地 事業概要 等が表記された資料を添付して下さい。

3. 理事会の承認

入会申し込みは、概ね月1回開催される理事会にて審議され承認の可否がとられます。
なお、理事会開催に先立ち、事務局総務部長他が貴社の連絡窓口予定者と事前に面談させていただき、入会目的や会社概要を伺うと共に、J A H I Sの定款や規則についての説明をさせていただきます。

4. 入会受理の通知

理事会で入会が承認されましたら、事務局から、受理の通知と共に「部会参加申込書」、「会員登録連絡票」、「請求書（入会金・年会費）」他をお送りいたします。

5. 会員登録

会員登録に当たっては、会員代表者、会員連絡窓口者、参加委員会・専門委員会への委員、それぞれの登録をしていただくことになります。

各自の個人社内情報を登録していただくこととなりますが、Eメールアドレスは会社内のグループメールアドレスを登録することはできませんのでご注意ください。

なお、J A H I Sからの連絡・案内・資料（技術情報を含む）は会員連絡窓口が届きますので、必要に応じて社内へ展開できる方をご指名ください。

6. 参加希望部会の登録と委員の登録

参加希望部会の登録と、参加委員会・専門委員会ごとに委員を登録していただきます。委員会・専門委員会の連絡は登録された委員に通知されます。

7. 会費の納入

請求書に記載の期限までに入会金および初年度の会費を納入していただきます。会費納入の確認後、会員としてのサービスが開始されます。

ご不明の点は以下の担当までお問い合わせください
一般社団法人 保健医療福祉情報システム工業会
事務局総務部長 谷口 浩一
〒105-0004 東京都港区新橋2丁目5番5号
(新橋2丁目MTビル5階)
TEL:03-3506-8010 FAX:03-3506-8070
e-mail: taniguchi@jahis.jp

本会の活動は、以下のホームページでも報告しています

<https://www.jahis.jp/>